

俺の精液を求めろ

ケモミミ巫女姫を

パーティで籠絡して
子作りハレムエッチ

男が産まれない異世界へ
召喚された俺が
ヒロインを充てがわれて
子作りエッチ3

漫画
針金紳士

R18
成人向け
FOR ADULT ONLY
18歳未満の
購入閲覧禁止

ひびろコミック





最初に懐妊が確認された二人に続き先日はリコッタと――

救世主様のご活躍で国内の子作りは順調に進んでおります

改めて考えると凄いいことしてるな…

この度お呼びしたのは次に子を成して頂きたい相手についてなのですが…

それが実は…国外からの依頼でして…

国外!?

ええ…

我が国と同じくかつて異世界召喚を行い…その血を今に残す同盟国――

ヒノモト国――

ヒノモトって…それってもしかして…

その国の次期女王となる方巫女姫クロエ様との子作りをお願いしたく…

もしかしたら
この世界と元の世界との
繋がりが何かわかるかも…

はい

大丈夫です

まさか即答とは…!!
流石は救世主様

では早速護衛の
手配を—

お待ちを!!

話は聞かせて
もらいました!!

リコッタさん

はあ…
リコッタ…扉は
静かに開けなさい

ご主人様の護衛は
私にお任せを!!

ヒノモト国であれば
騎士団の用事で何度も
行っていましたから

私がしっかり
送り届けて
みせますよ!



やだ!!
遠征中ずっとご主人様に
会えないなんて耐えられ
ませんから!!

ただし



貴女はもっとと王女と
しての自覚をもって
欲しいのですが…

まあ良いでしょう



救世主様もそれで
良いでしょうか?

あ…はい!

皆が来てくれるなら
僕も安心ですし



貴女は一人にすると
あぶなっかしいので

うっ

世話役の二人も
同行させることに
しましょう



では馬車を
用意させますね

お願いします

ヒノモト国

そろそろ
着きそうですわね

わあ…

王国とは全然
違う雰囲気だね

御主人様のお役目は
明日からとなりますが

本日より顔合わせ
をして頂くため

到着後は姫の
居宮に向かうこと
になります

あ

そうだね

ご主人様

到着後の
予定を確認して
おきましょうか

はは…

まあ何とか
頑張るよ

ご主人様なら
大丈夫ですよ♡

そうなんだ

少し緊張するな…
こういう人なんだろ

我々も途中まで
同行しますが

謁見の間へは
お一人で入って
頂きます



クロエ様

救世主様にご到着
されましたのでお連れ
しました

遠路はるばる
我が国まで足を運んで頂き
感謝する

今代の救世主殿



ご苦労
下がって良いぞ



巫女服...?に黒髪...
この人が前の異世界人の
末裔...

は...はじめまして



我がこの国の
巫女姫

クロエじや



消え...っ!?

!?

そうかそうか!!

やはり神託は
そういう事
じゃったか!!

む



救世主殿

お主ニホンから
来た人間じゃな!?

い...今日本...
と...か...猫耳...

そ...
そうですけど...

どうして
それを...?

おめ

ト...月...

お主が来る数日前に
神託があったんじゃ

…そのせいかお主を
見ていると身体が
疼いてしまったの…

これは明日まで我慢
出来そうに無い…♥

近いうちに
私の血と引き合う者が
現れると

それがまさか此度の
救世主殿とは…運命の
導きに違いあるまいて

私も声は出さぬように
するから…ちよつとなら
いいじやろ？

堅いことを
言うでない

隣の部屋に皆も
いますし…
気付かれますって

うう…

…ちよっと
だけですからね？

おお!!

話がわかるな
救世主殿♥

じゃあ…

!?

な…なんじゃ
こやう…

我がリードするはずじゃったのに
接吻だけでこんなに身体力が
抜けて蕩けるような…♡

見た目の割に
めちゃくちや手慣れて
おるではないか…!!

やん…!!
やん…!!

やん…!!
やん…!!



何じゃ今のは...♡♡

おかしな...!

急になんでそんなことを...
今まで触った事も無さなのに
こんな...♡♡

♡♡♡♡

じゃ...
じゃって...

声出さないって
言ったじゃない
ですか!!

アツアツな...♡♡
感じて...♡♡

♡♡♡♡

こんな...こんなもの
知らんぞ...♡♡
声か...漏れて...♡♡

♡♡♡♡♡♡♡♡
♡♡♡♡♡♡♡♡



ご主人様達…

随分長く話し込まれて
いるみたいですね…?

ヒノモト国には何か
思う所もありそう
だったからな…

顔合わせとはいえ
色々話す事もお有り
なのだろう

確かに…
そうですね

その事
なのですが…



先程から隣の部屋から
妙な音が聞こえます…

くっ…この私が
ついていながら…!!

な…何!?

本当か
ミーシャ!!

聞き間違え
かとも思ったの
ですが…
先程一際
大きな音が

あつ…

リコッタ様
多分この声は…

何かもみ合う
ような音と…

くぐもった
お二人の音が…

なんだと…!?

二人とも
ご無事です—



か…っ!!

アッ!!

…あ



…ご主人様
クロエ殿…

お二人はここで
何をなさっている
のでしょうか…?

あ…

え…っつと



…そうですか

そんなに我慢が
出来ないようでしたら…

な…
何するんじや!!



その…
じゃな

明日以降に備えて
ちよつと身体の相性など
確かめようと…



今日は顔合わせ
だけの予定だった
筈ですが…?

クロエ殿

私達もお手伝い
しましょう

リコッタ…っ
やめんか…♡

♡
♡
♡

だめですよ
予定も守れないクロエ殿
へのお仕置きでもあるん
ですから♡

さあ
ご主人様も



我は初めて
じゃから...その
ゆっくり...っ

ちょ...!?



予定とは
違うけど...
!?

...まあもう
仕方ないか...

リーシヤさん
ちよっと...っ

カチャカチャ



じゃが...痛みが無い
ではないが...この感じは...

ハハハ

「...」やっ奥まで
「気」...挿れおっ...っ

ムニャムニャ
ムニャムニャ



おちんぽに身体を
買かれる感覚は...

どうですか
クロエ殿



ムニャムニャ

ムニャムニャ

ムニャムニャ

な…なんじゃ
これは…っ♡

腹の奥をゴリゴリと
押し上げてきて…っ♡

苦しいはずじゃのに…っ
突き上げられるたびに
雷に打たれるような…っ♡

刺激と快感が
溢れてきて…っ♡

ご主人様の
おちんちん
すごいですよねっ♡



お主ら...っ♡

ちつとは手加減せんかっ...♡

それがわかっておるならっ...♡

びしょっ

びしょっ

びしょっ



こゝまでするつもりじゃ...っ♡

びしょっ

びしょっ



じゃから...っ♡

それは...っ♡

びしょっ

びしょっ



一日も我慢出来ない程だったのでしよう?

存分に気持ちよくなって下さい♡

びしょっ

びしょっ



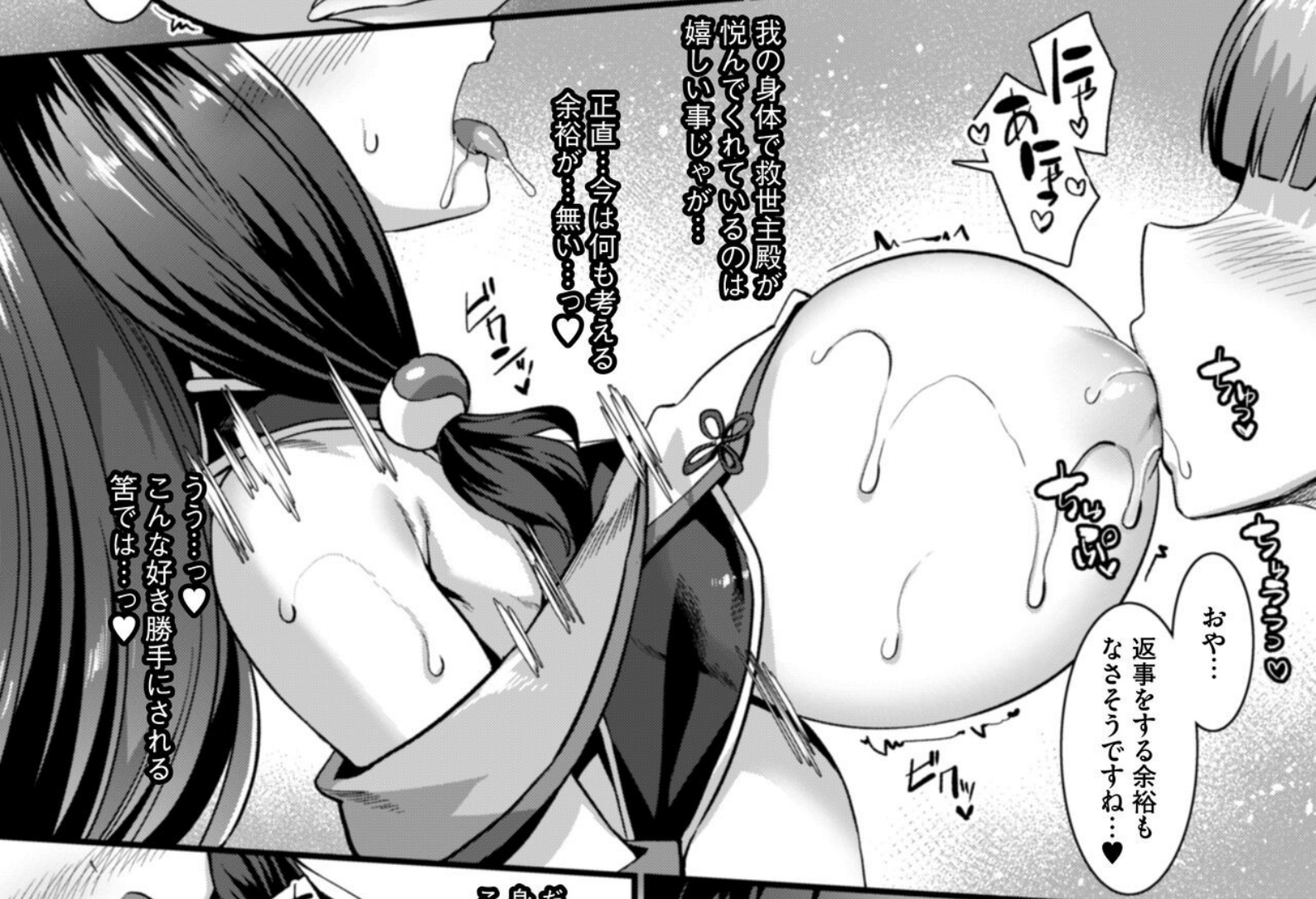
流石です
クロエ殿

ご主人様も
気持ち良そうですね
ですよ♡



身体がビクビクって
跳ねるたびに…っ

膣内がうねる
みたいに
締まって…♡



私の身体で救世主殿が
悦んでくれているのは
嬉しい事じゃが…

正直…今は何も考える
余裕が…無い…っ♡

うっ…っ♡
こんな好き勝手にされる
筈では…っ♡

返事をする余裕も
なさそうですね…♡



だ…ダメじゃ…♡
身体の奥から何かが
こみ上げて…っ♡

ま…っ
待ってくれ…っ♡



二人とも

もっと激しく
して差し上げる♡

そ…そんな
これ以上されたら…♡



!?

うわわわわ

あれ…!!
さっきまでの場所
じゃない…!!



って
どうしたの
その格好!!

あや

…って
うわっ
僕もいつの間
に服が無くなって…



ご主人様…♡

よかった
皆も居た…

X



どうしたの
皆…?

あれ…?



その…なんだ
…すまぬ救世主殿

クロエさん…?

先の絶頂が
想像以上じゃった
せいかな…

どうやら魔法が
暴発してしまった
ようでの…

魔法…?



明日からの子作り期間で
使う予定じゃった隔離空間
なんじゃが…

一足先に
来てしまったようじゃ…

…皆のこの状態は?

気分を高めるために
催淫魔法をじゃな…

空間全体に…

何しようと
してるんですか!?



う…っ
言われてみると
確かに身体がちよっと
おかしいような…

それは
大変…!!

ではご主人様
是非私の身体をお使い
くださいませ!!

あっ

リコッタ様
ずるい!!

アハハハ…!!



む…
も…元々は我と救世主殿
のための場じゃったのに…

元々と言うのであれば
今日の顔合わせの後には
明日からの子作り
期間に入る前の

はま

明日からの子作り
期間に入る前の

ご主人様にたくっぶり
お相手頂く予定だったの
ですから…私達が優先です♥

クロエ殿はさっき
してもらったでしょう

うぐぐ…

それに

うぐぐ…



おっ♥
ご主人様っ♥
はげしっ…♥

いいなあ
リコッタ様…

姉さん
羨んでいないで
私達の役目は
ご主人様にご奉仕する
事でしょう



…ですの

ミ…ミーシヤ
さん…っ♥

後ろから
ご奉仕させて頂きますね
ご主人様…♥

ぬるぬるの舌が
はらってきつ…
すご…っっ♡

♡ ミーシヤさんこれ
気持ちよすぎ…っ♡

中でもっと
大きくなって…♡

くわんごん
しやま…♡

リコッタさん…
そんなに締めたら…

僕…っ♡
…っ♡

わらしも…っ
イぢまひ…っ♡







むむう…

今日はなんか
ミーシヤちゃんが
積極的…

あ…

リーシヤさん
ちよっと待ってね

はい…



じゃあ…
挿れるよ

おん



ミーシヤさん
ちよっといつもより
激しくしちゃうかも
だけど…

はい…♥
ご主人様の望むままに
お使い下さいませ♥

はは…
ありがとう



うぐぐ…こやつら
我の前で見せつけるように
しておつて…

しかし…魔法の効果があるからとこの精力…これが救世主たる力なのか…?

んほ…

うん



なん…っ!!
これ…っ♡

奥が…突き
上げられてっ♡

スト
ク
ク

あ
あ
あ

ギ
ギ



い
い
い

し
し
し



ミーシャさんっ♡
ごめんなさい…っ♡
でも…止められ
無いです…っ♡

いえ…っ♡
私でこんなに…
なって頂いて…っ♡
嬉しいです…っ♡

私も…っ♡
快感で…おかしく
なってしまうそうで…っ♡

お
お
お

お
お
お

ガ
ガ
ガ



んぷっ...
リーシヤさん...



ミーシヤちゃん
気持ち良いわね...



もう我慢
できません!!
ご主人様あつ

姉さんっ...!!
もう...っ!!



舌が絡め取られて
リーシヤさんの回の中で
舐め回されると...

気持ちいい...
頭がふわふわして...
我慢が出来なくなる...!!



柔らかい唇で口を
塞がれて...
息が...



ご主人様のおちんちんが
ふくらんできて…♡
そろそろ射精なさり
そうなのですね…♡

ご主人様っ♡
お好きな時に
私の膣奥にお出し
下さいませっ♡



ご主人様の熱い精液が
一番奥に当たって…♡

あゝ♡

ちゅっ
ちゅっ
ちゅっ



もう…どんだけ
待ちきれなかった
んですか…っ

だ…だってえ♥

…我は救世主殿を
すっかり見誤つておつた
ようだな…

こんなに立て続けに
する精力もそうじゃが…
こやつらの蕩けた顔とぎたら…

こんなものを見せられて…
雌としての本能に抗える
はずが無い…♥

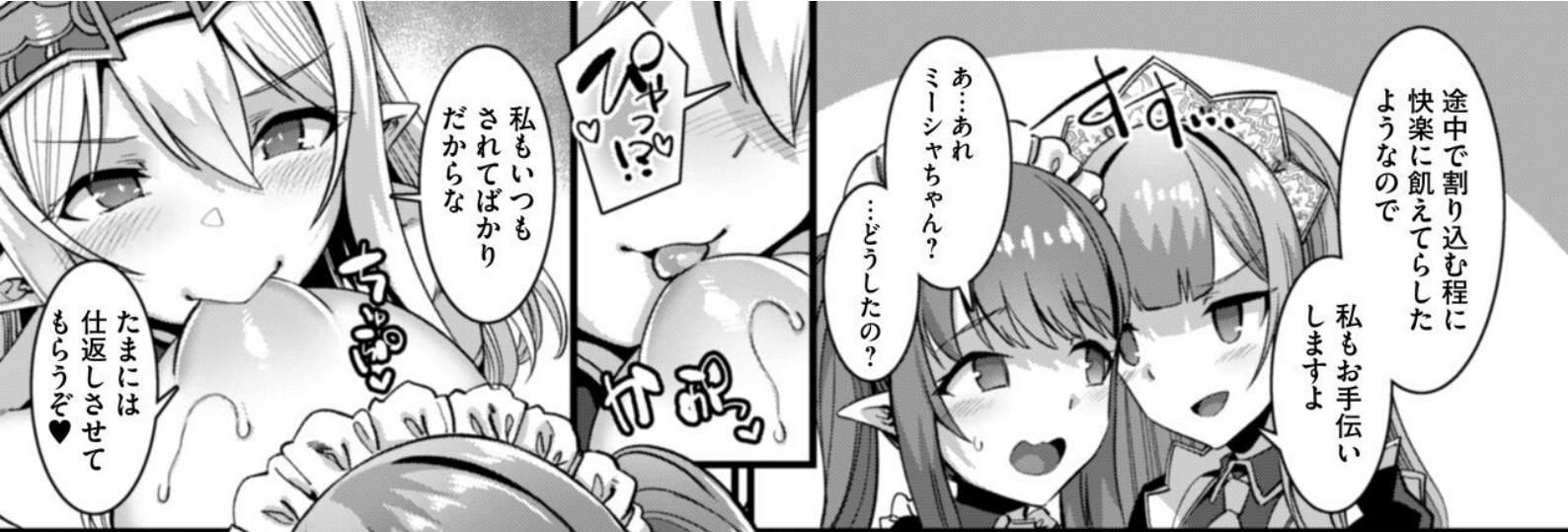
こんな状態で
ずっと焦らされ
たからあ…♥

もうおかしく
なっちゃいますうで…っ♥
今でも…っ♥

おちんちんで突き上げ
られるたびに…っ♥
いつもより感じ過ぎ
ちゃって…っ♥

では姉さん

!?



途中で割り込む程に
快樂に飢えてらした
ようなので

私もお手伝い
しますよ

あ...あれ
ミーシャちゃん?

...どうしたの?

私もいつも
されてばかり
だからな

たまには
仕返しさせて
もらうぞ♥



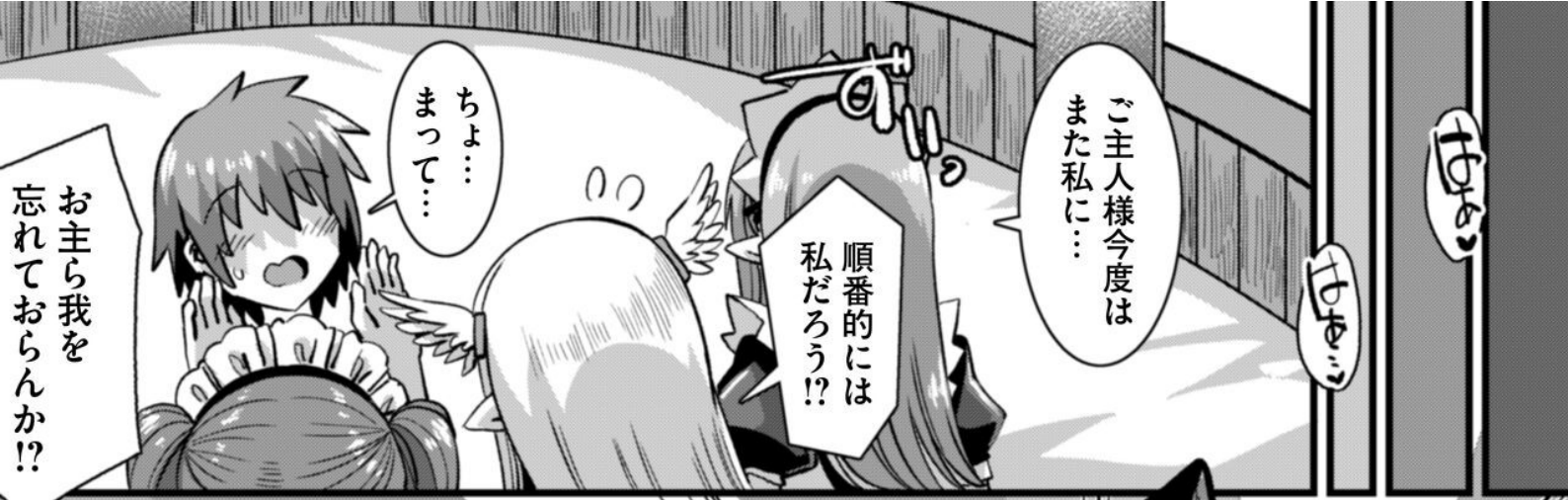
もっといっぱい
してたいのにな♥

そんなにな♥
されたらあ♥

もう
ダメ...♥

リコッタ様
まで...!?

イツちやい
ますう♥



ご主人様今度は
また私に…

順番的には
私だろう!!

ちよ…
まって…

お主ら我を
忘れておらんか!!



クロエ殿は明日以降
いくらでもお相手して
貰えるのですから
良いでしょう

だ…だからといって
こんな…っ!!



散々目の前で
見せつけおって…!!

順番通りというなら
私の番じやろうが!!



…まあ
流石に今日ずっと
放置っていうのも
申し訳ないし…

いっそ予定を
前倒ししても…



おおっ!!
流石救世主殿!!
是非そうしよう!!

ご主人様がそう
仰るなら…

…多分？
魔法のせいかな
まだ全然元気
だし

…じゃが
その…救世主殿は
そんなに連続でも
大丈夫なのか…？

それじゃあ
クロエさん
改めて…お相手して
貰ってもいいですか？

う…うむ!!

こ…これは凄いのう…♡
咽返るような性の匂いが…♡

これでは前戯も
要らぬかも知れんが…

我に清めさせて
くれ…♡

うあ…っ♡
舌がざらざらで
刺激が…す…っ♡

た…確かに
これは…

あ…っ♡
口の中も…す…っ♡
熱くて…っ♡

うあ…っ♡



ク…クロエ
さん…っ

も…もう
大丈夫…っ

というか…これ以上
されると…射精ちやい
そうだから…っ ♡

救世主殿のちんぽの匂いが
頭に充満してきて…
喉奥に当たる刺激すらも脳が
気持ちよく感じてしまっ…っ ♡



そ…そうかつ ♡

すまぬの…
つい…夢中になりすぎて
しまった… ♡

気持ちよくして
もらった分

今度は
僕が頑張る番です

大事な儀式なのに
成り行きな感じに
なっちゃって…
ごめんなさい

いや…そもそもは
我のせいじゃしの…

それに…これで
良かったんじゃ

おかげで予定通りの…
王家の義務としての
子作りではないと思えた

?

ほなほな

ほなほな

今日だけは
ヒノモト国の姫と
してではなく

ただのクロエとして
の頼みじゃ…♡

どうか救世主殿の
子種を注いで

我を孕ませて
くれ…♡

クロエさん…



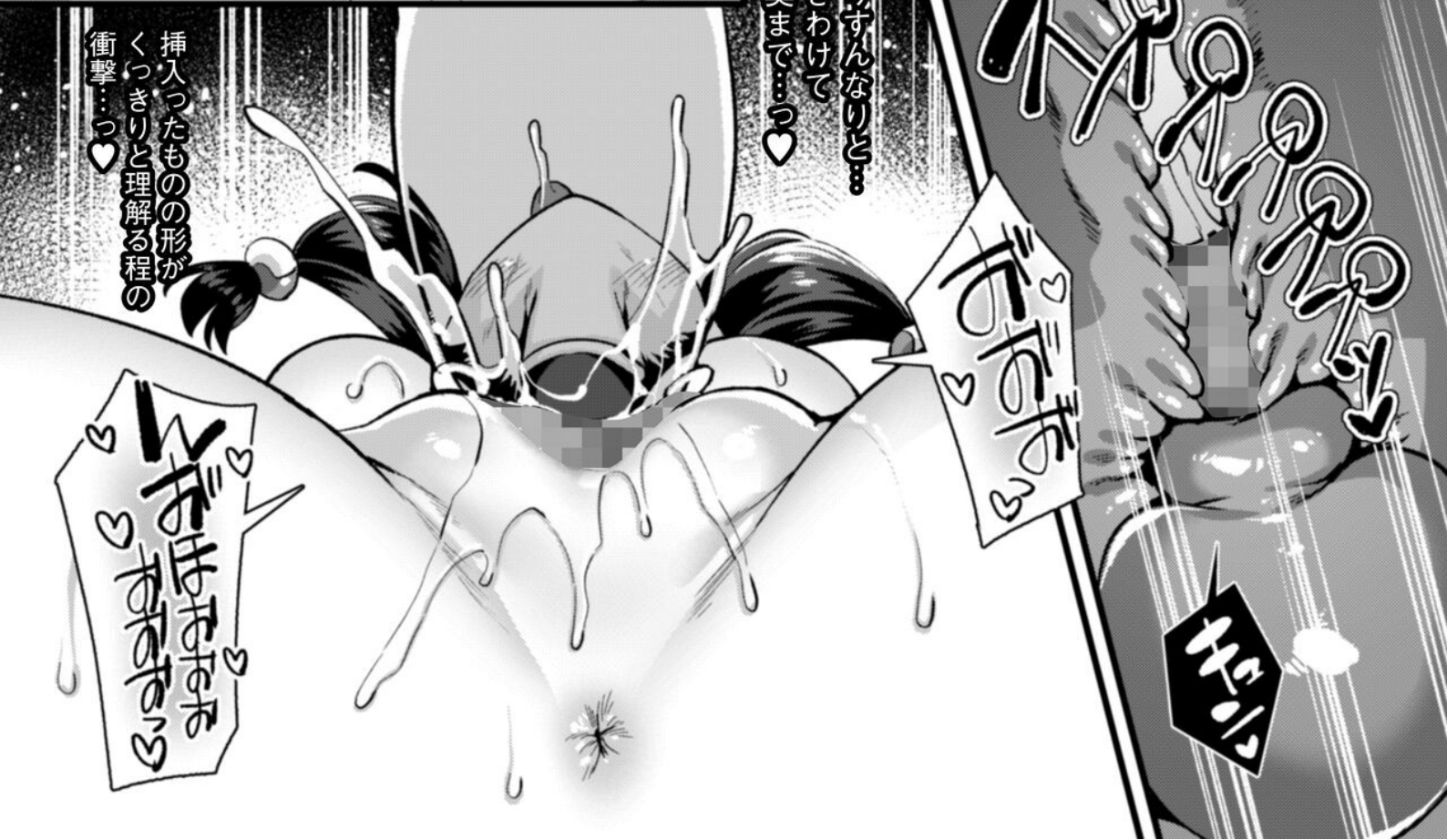
わかりました

では…
挿れますね

う…う…♡



さつきよりすんなりと…
ヒダをかきわけて
ちんぽが奥まで…♡



挿入ったものの形が
くつきりと理解る程の
衝撃…♡

ははは♡
ははは♡
ははは♡

先程の行為の際でもこれ以上の快感は無いと思っておったが…♡

救世主殿…♡

何故じゃ…♡

今感じてるこれは…

先程の比では無い…♡♡

少し…♡
ゆっくらり♡

ごめんなさる…♡
できるだけ
ゆっくらり…♡

動いてるん…
ですけど…♡

ですねぇ

ふふ

クロエ殿も素直に
快感を受け入れ始めた
ようだな

リコッタ様の
最初の頃を思い
出しますね♡

…うぐぐ

ずっと焦らされていらしたせいか…？
それとも…心の在り様のせりなのか…？

あははははは
うははははは

あははは

あははは

あははは

あははは

あははは

あははは



この体勢…っ
深い所まで…っ♡

届きすぎて…っ
ダメになって
しまう…っ♡♡

救世主殿っ♡

ごめんなさ…
でも…っ
奥あたるたびに
きつく締まって…っ

これ…っ
止まらな…っ♡



クロエさ…っ

僕…っ
もう…っ

!!

…今臆奥に射精されたら…っ♡
…っ♡

ちょ…っ

今は
ダメじゃ…っ



射撃っっっ

大きいのが...っ
くっくっくっっ

あああああ

あ

あ



救世主殿は
予定を前倒しと
言ったであろう!!

今はもう我との
子作り期間の
はずじゃ!!

ええ
!?



こやつらのよつになる
のも解る...か

順番通りなら
私が...!!

お...お主ら!!



ご主人様!!
次は私ですよ♥

姉さんはさっき
したばかりじゃ
ないですか!!

こ...これが救世主殿との
本気交尾...っ♥
こんなものを味わってしまったては...♥

どう
されますか!
するんじや!



え…
えーっと…

まだ全然できるとは
思うから…
仲良く順番に…
ね?

はい♡



ご主人様…今日は
いつもにも増してスゴい
ですね…♡

四人が相手でも
ここまでとは…♡

や…っ♡
ちよ…
だめ…っ♡

おっ♡

おっ♡
おっ♡

おっ♡
おっ♡

おっ♡
おっ♡

おっ♡

おっ♡



あーっ
あーっ
あーっ

あーっ

あーっ

あーっ

あーっ

確かに…これを一人で
相手にしていたらと
思うとなあ。

…これは

アァァァ...

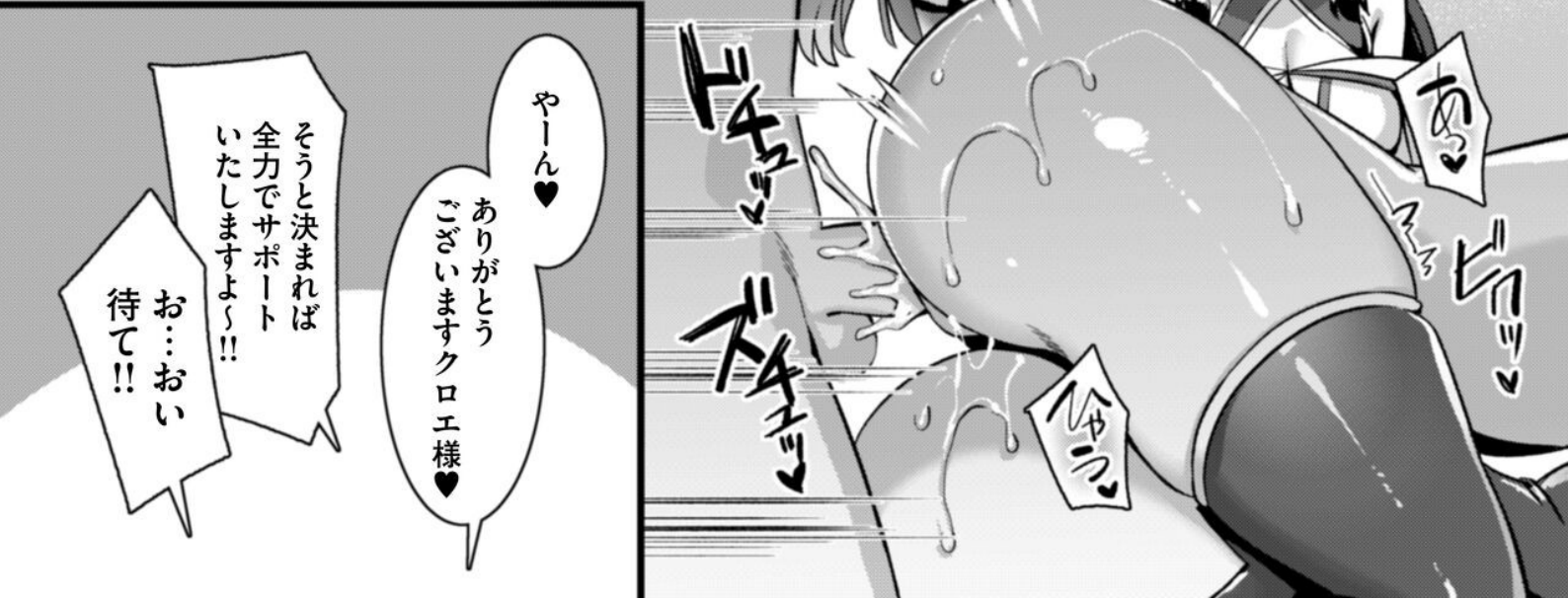


これは明日以降も
お主人には居てもらった方
が良いかも知れんな…

良いんですか!?

お…おう

アァァァ...



あーっ
あーっ
あーっ

あーっ

あーっ

やーん♥

ありがとうございます
ございますクロエ様♥

そうと決まれば
全力でサポート
いたしますよ!!

お…おい
待て!!

ご主人様♥

?

次は是非
クロエ様につ♥

や...やめんか
このポンコツ
メイドめっ!!

早く
クロエ様にも

ご主人様の赤ちゃんを
授かる幸せを知って
欲しいですから♥

それに...ほら
クロエ様もまたこんなに
なってるじゃないですか♥

うう...っ

♡♡♡♡♡
♡♡♡♡♡
♡♡♡♡♡

しかし確かにどうも纏わりと
この快樂には抗えぬ♡♡

ならばごやつらと
同じようだ...

目一杯楽しまないと
損かも知れぬな...♥

クロエさん...
僕また...っ

我も...もう...っ♥
イキそう...
じゃから...っ♥

私の胎を…子種で
満たしてくれっ…♡

あーっ♡

アハハハ♡

アハハハ♡

アハハハ♡

アハハハ♡

アハハハ♡

もう…っ♡
入らな…っ♡
んああっ♡

……目茶苦茶な
スタートとなった
一日が終わり——



翌日からもまた
一層激しく何度も
何度も交わり

時間もわからなく
なるまで互いに
乱れ続けた

あっ♡

またっ♡

毎日限界まで子種を
この身に注がれる
日々を重ね

ああっ…♡
子種汁が…
溢れて…っ♡

心身の繋がりが
深くなるにつれて

んっ♡

子を授かり…産みたいと
思う気持ちは日増しに
膨らみつつ—

—ただそれが意味する
別れの事は考えぬように
して過ごした

そして—

救世主殿

本日の伽をもって
お主の任は完了じや



おめでたい事ですけど
…少し寂しいですね

役目の事ばかりで…
クロエさんとかこの国の事
もっと知れたかったん
ですけど…



ヒノモト族の女は
自分で解るんじゃないよ
我が身に子を
宿した感覚が

へえ…!!
すごいですね…



…そう言ってくれる
気持ちは嬉しいがの

救世主殿
何を言うておるかつ

わっ



お主はこの世界を
救うために来たのじゃから…

あまり我にお主を独り占め
させたくするでない

翌日

それじゃあ
クロエさん

お元気で

うむ
お主もな

…救世主殿
此度の件改めて
感謝する

お主の子

必ず立派に
育て上げるからの

またいつか
会おうぞ!!

お役目
お疲れ様でした
ご主人様

ガッ
ガッ

ヒノモト国は
いかがでしたか?

うん

楽しかったし
来てよかったよ

…まあホントは前の
異世界人の事を
もう少し知りたかったって
いうのはあるんだけど

ヒノモト国でもあんまり
記録は残ってないみたい
だったからこれは
仕方がないね

確かに…

クロエ様でも知らない
って事はヒノモト王家でも
知らないって事でもんね



救世主殿

別れの前にこれを
渡しておく

これは？

おまじない

私の魔力を込めた
ものじゃ

我を召喚出来る魔道具
と思ってくればよい



あれ

クロエ様といえば…
なんだか今日は随分とアツサリ
としたお別れでしたね？

確かに

私が帰る時です
…



出発の前夜—

あ
それは多分…



えー!!
気になるじゃ
ないですか!!

…やっぱり
何でもない

ガラ

結局城に着いてすぐ再会
する事になった上に
当然のようにすぐ皆にも
バレる事になるけど…
それはまた別の話—



大事になつては
マズいからの

この事は
リコッタ達には
内緒じゃぞ♥

…わかりました

